

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月7日

協議会名: 富山県生活路線バス協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
富山地方鉄道株式会社	○滑川線 富山駅前～滑川駅前 ○車両減価償却費等補助金	各種割引定期券の販売、バス 位置情報の提供、ノンステップ バスの導入等を実施するととも に、夏休みの親子でおでかけ キャンペーンなど関係自治体と の利用促進に取り組み、利用 者の増加に努めた。	A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施され た。	A ＜目標:県民一人当たりの バスの年間利用回数＞ 今年度の利用者は120,097 人で前年比100.3%となり、 利用者が微増となった。	沿線の自治体と連携し、これま でに実施してきたバス停周辺 の駐輪場やバスのロケーション 情報などのPRを行い、利用促 進に取り組む。
				A ＜目標:ノンステップバス導 入割合(民営乗合)＞ ノンステップバスをR1.7に3 台導入した。	引き続き、利用者の利便性向 上等に向け、ノンステップバス の導入に努めるとともに、中古車 両の購入等で低床車両の導入 にも努める。
富山地方鉄道株式会社	○猪谷線 赤十字病院前～猪谷 ○車両減価償却費等補助金	各種割引定期券の販売、バス 位置情報の提供、ノンステップ バスの導入等を実施するととも に、富山市のおでかけ定期券 や夏休みの親子でおでかけ キャンペーンなど関係自治体と の利用促進に取り組み、利用 者の増加に努めた。	A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施され た。	A ＜目標:県民一人当たりの バスの年間利用回数＞ 今年度の利用者は148,395 人で前年比105.6%となり、 利用者が増加した。	富山市と連携し、これまでに実 施してきたP&R駐車場やバス のロケーション情報などのPRを 行うとともに、沿線の商業施設 や病院等にバス時刻表を設置 するなど、利用促進に取り組 む。
				A ＜目標:ノンステップバス導 入割合(民営乗合)＞ ノンステップバスをR1.7に3 台導入した。	引き続き、利用者の利便性向 上等に向け、ノンステップバス の導入に努めるとともに、中古車 両の購入等で低床車両の導入 にも努める。

富山地方鉄道株式会社	○高岡線 富山駅前～高岡駅前	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供、ノンステップバスの導入等を実施するとともに、夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進に取り組み、利用者の増加に努めた。 H31.4にダイヤ改正を実施した際、利用者の少なかった高岡駅前～新高岡駅前を廃止したことにより、収支率が改善した。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A	<目標：県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者は261,229人で前年比105.6%となり、利用者が増加した。	沿線の自治体と連携し、これまでに導入してきたバス停周辺の駐輪場やバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、バス停の上屋整備などの利用促進に取り組む。
	○車両減価償却費等補助金				A	<目標：ノンステップバス導入割合(民営乗合)> ノンステップバスをR1.7に3台導入した。	引き続き、利用者の利便性向上等に向け、ノンステップバスの導入に努めるとともに、中古車両の購入等で低床車両の導入にも努める。
富山地方鉄道株式会社	○小杉線 富山駅前～小杉駅前	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供、ノンステップバスの導入等を実施するとともに、夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<目標：県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者は111,220人で前年比95.0%となり、利用者が減少した。	沿線の自治体と連携し、これまでに実施してきたバスのロケーション情報などのPRを行う。また、減少した定期利用者のうち、通学利用者は学校用のバスへ移行していることから、新規利用者獲得に向けたモビリティマネジメントに取り組む。
	○車両減価償却費等補助金				A	<目標：ノンステップバス導入割合(民営乗合)> ノンステップバスをR1.7に3台導入した。	引き続き、利用者の利便性向上等に向け、ノンステップバスの導入に努めるとともに、中古車両の購入等で低床車両の導入にも努める。
富山地方鉄道株式会社	○山田線 富山駅前～山田行政センター	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供、ノンステップバスの導入等を実施するとともに、富山市のおでかけ定期券や夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A	<目標：県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者は124,728人で前年比102.6%となり、利用者が増加した。	富山市と連携し、これまでに実施してきたバス停周辺の駐輪場やバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、沿線の学校や商業施設などに公共交通の利便性をPRし、利用促進に取り組む。
	○車両減価償却費等補助金				A	<目標：ノンステップバス導入割合(民営乗合)> ノンステップバスをR1.7に3台導入した。	引き続き、利用者の利便性向上等に向け、ノンステップバスの導入に努めるとともに、中古車両の購入等で低床車両の導入にも努める。

富山地方鉄道株式会社	○ファボーレ経由萩の島循環線 富山駅前～萩の島～富山駅前	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供、ノンステップバスの導入等を実施するとともに富山市のおでかけ定期券や夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A	<目標：県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者は78,576人で前年比101.3%となり、利用者が増加した。	富山市と連携し、これまでに実施してきたロケーション情報などのPRを行うとともに、新しくなった大型ショッピングセンターへのアクセスのよさの周知に努めるなどの利用促進に努める。
	○車両減価償却費等補助金				A	<目標：ノンステップバス導入割合（民営乗合）> ノンステップバスをR1.7に3台導入した。	引き続き、利用者の利便性向上等に向け、ノンステップバスの導入に努めるとともに、中古車両の購入等で低床車両の導入にも努める。
富山地方鉄道株式会社	○富山国際大学線 （市民病院経由、開発経由） 富山駅前～富山国際大学	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供、ノンステップバスの導入等を実施するとともに、富山市のおでかけ定期券や夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<目標：県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者は198,834人で前年比95.0%となり、利用者が減少した。	富山市と連携し、これまでに実施してきたバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、富山市民病院など沿線の施設への利便性をPRし、利用促進に取り組む。 当該路線は、2年連続で黒字の路線となっている。
	○車両減価償却費等補助金				A	<目標：ノンステップバス導入割合（民営乗合）> ノンステップバスをR1.7に3台導入した。	引き続き、利用者の利便性向上等に向け、ノンステップバスの導入に努めるとともに、中古車両の購入等で低床車両の導入にも努める。
富山地方鉄道株式会社	○月岡団地経由福沢線 富山駅前～福沢	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供、ノンステップバスの導入等を実施するとともに富山市のおでかけ定期券や夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<目標：県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者は139,048人で前年比97.5%となり、利用者が減少した。	富山市と連携し、これまでに実施してきたバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、沿線の学校等に公共交通の利便性をPRし、利用促進に取り組む。 なお、当該路線は2年連続で黒字の路線となっている。
	○車両減価償却費等補助金				A	<目標：ノンステップバス導入割合（民営乗合）> ノンステップバスをR1.7に3台導入した。	引き続き、利用者の利便性向上等に向け、ノンステップバスの導入に努めるとともに、中古車両の購入等で低床車両の導入にも努める。

富山地方鉄道株式会社	○熊野経由八尾線 富山駅前～八尾鏡町	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供、ノンステップバスの導入等を実施するとともに、富山市のおでかけ定期券や夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<目標：県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者は215,801人で前年比99.4%となり、利用者は微減となった。	富山市と連携し、これまでに実施してきた平日の23時発のスターライトバスやバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、沿線の学校等に公共交通の利便性をPRし、利用促進に取り組む。
	○車両減価償却費等補助金				A	<目標：ノンステップバス導入割合（民営乗合）> ノンステップバスをR1.7に3台導入した。	引き続き、利用者の利便性向上等に向け、ノンステップバスの導入に努めるとともに、中古車両の購入等で低床車両の導入にも努める。
富山地方鉄道株式会社	○城端線 富山駅前～城端行政センター前	バス位置情報の提供等を実施するとともに、砺波市・南砺市の両地区からの富山市中心部への利用者利便のため、運行本数を維持し、路線維持に努めた。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<目標：県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者は110,430人で前年比99.9%となり、利用者は微減となった。	昨年度、未実施であった運賃見直しによる収支改善の他、利便性向上のために、利用者から意見が出ているバス停新設などの検討する。
加越能バス株式会社	脇 起点：高岡駅前 終点：脇	現在の運行回数を維持しつつ、各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等、小学生へのバスの乗り方教室への協力等、公共交通への利用促進に取り組んだ。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B	<目標：県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者数は142,589人で前年度比97.7%となり、特に定期外の利用者が減少した。	通学利用の減少を改善するため、沿線市と連携し沿線の学校などへ利便性をPRし、公共交通への利用促進に取り組む。
加越能バス株式会社	守山経由氷見 起点：高岡駅前 終点：氷見市民病院	現在の運行回数を維持しつつ、各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等、小学生へのバスの乗り方教室への協力等、公共交通への利用促進に取り組んだ。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A	<目標：県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者数は64,256人で前年度比118.5%となり、定期、定期外利用とも増加した。	通学利用の減少を改善するため、沿線市と連携し沿線の学校などへ利便性をPRし、公共交通への利用促進に取り組む。
加越能バス株式会社	新高岡守山経由氷見 起点：済生会病院 終点：氷見市民病院	現在の運行回数を維持しつつ、各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等、小学生へのバスの乗り方教室への協力等、公共交通への利用促進に取り組んだ。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A	<目標：県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者数は145,136人で前年度比109.1%となり、定期、定期外利用とも増加した。	通学利用の減少を改善するため、沿線市と連携し沿線の学校などへ利便性をPRし、公共交通への利用促進に取り組む。

加越能バス株式会社	伏木經由氷見 起点:済生会病院 終点:氷見市民病院	現在の運行回数を維持しつつ、各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等、公共交通への利用促進に取り組んだ。また、沿線市と連携し観光ポータルサイトへの掲載等利用者の掘り起こしを行った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A	<目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者数は118,505人で前年度比112.9%と増加した。	引き続き沿線市と連携し公共交通への利用促進に取り組む。
加越能バス株式会社	仏生寺 起点:済生会病院 終点:氷見市民病院	沿線市と連携し沿線の学校などへ利便性をPRし、潜在的な利用者の掘り起こしを行った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B	<目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者数は91,360人で前年比88.8%となり定期、定期外とも減少した。	引き続き沿線市と連携し、沿線施設や学校などへ利便性をPRし公共交通への利用促進に取り組む。
加越能バス株式会社	石動 起点:済生会病院 終点:石動駅前	沿線市と連携し沿線の学校などへ利便性をPRし、潜在的な利用者の掘り起こしを行った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A	<目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者数は63,917人で前年比127.5%と増加し定期・定期外とも増加した。	引き続き沿線市と連携し、沿線施設や学校及び病院などへの利便性をPRし公共交通への利用促進に取り組む。
加越能バス株式会社	済生会・中田団地 起点:高岡駅南口 終点:中田中学校前	沿線市と連携し、運転免許返納者への回数券の交付等、潜在的な利用者の掘り起こしを行った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B	<目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者数は35,046人で前年比92.5%と減少し定期・定期外とも減少した。	沿線市と連携し、商業施設や病院などへのPRをし、利用実態に見合ったダイヤ改正なども検討する。
加越能バス株式会社	加越 起点:石動駅前 終点:庄川町	利用実態に見合った運行体系の見直しを行い、又、高齢者へのバス利用促進のPRを行った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B	<目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者数は29,830人で前年比94.9%と減少した。	沿線市と連携し、沿線施設や学校及び病院などへの利便性をPRし公共交通への利用促進に取り組む。利用実態に見合った運行の見直しを図る。

加越能バス株式会社	砺波立野脇 起点: 砺波市役所前 終点: 立野脇	利用実態に見合った運行体系の見直しを行い、又、高齢者へのバス利用促進のPRを行った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B	＜目標: 県民一人当たりのバスの年間利用回数＞ 今年度の利用者数は定期利用が利用が伸びず、18,468人で前年比93.8%と減少した。	利用実態に見合った運行体系の見直しを行い、収支改善に努める。
加越能バス株式会社	城端白川郷 起点: 城端駅前 終点: 白川郷	国内外からの観光客にも対応し、観光需要の取り込みやWi-Fi機器の更新、企画切符等の販売を継続し利用促進に取り組んだ。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A	＜目標: 県民一人当たりのバスの年間利用回数＞ 今年度の利用者数は70,052人で前年比100.6%と増加した。定期利用は減ったが定期外利用が増加した。	今後も沿線市と連携し、観光客にも対応した利用促進に取り組む。
加越能バス株式会社	庄川町 起点: 高岡駅前 終点: 庄川町	運行体系の見直しや沿線市と連携し利用者の掘り起こしや沿線施設へのPRを行った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A	＜目標: 県民一人当たりのバスの年間利用回数＞ 今年度の利用者数は144,574人で前年比104.1%と増加したが、定期利用は減少した。	沿線市と連携し、沿線の商業施設や学校及び病院などへの利便性をPRし公共交通への利用促進に取り組む。又、観光需要の取り込みも並行して実施する。
加越能バス株式会社	若林 起点: 砺波市役所前 終点: 石動駅前	利用実態に見合った運行体系、ダイヤの見直しを行い、又、高齢者へのバス利用促進のPRを行った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B	＜目標: 県民一人当たりのバスの年間利用回数＞ 今年度の利用者数は18,486人で前年比87.5%と減少した。定期・定期外とも利用者が減少した。	沿線市と連携し、沿線の病院や学校などへの利便性をPRし公共交通への利用促進に取り組む。利用実態に見合った運行の見直しを図る。

西日本ジェイアールバス株式会社	系統名：名金線 運行区間：金沢駅～森本駅～福光駅	モビリティマネジメントの一環として、公共交通の利用促進を目的とした地域イベント等への参加により沿線地域のPRを図る等、沿線自治体と連携した取り組みに努めたとともに、インバウンド向けのサービス向上等、当該路線の利用促進を図った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A	＜目標：県民一人当たりのバスの年間利用回数＞ 金沢市街における観光等によるご利用が堅調であり、利用者数は対前年100.3%と推移した。	バスロケーションシステム導入への参画や、青春18きっぷ利用者への割引施策実施等、幅広いニーズに対応した施策の実施や、継続した地域イベント等への参画等、モビリティマネジメントの取り組みにより、当該路線及び沿線地域のPRに努める。
富山地鉄北斗バス(株)	富山簡保保養センター 起点：富山駅前 終点：富山簡保保養センター	ICカード、割安定期券の販売促進に加え、富山市のおでかけ定期券や夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A	＜目標：県民一人当たりのバスの年間利用回数＞ 今年度の利用者は83,949人で前年比101%と増加した。	引き続き、沿線の自治体と連携し、利用促進に取り組むとともに、沿線の病院や学校等にも公共交通の利便性をPRし、利用促進に努める。
	○車両減価償却費等補助金	ノンステップバス(新車)を導入し、修繕費・燃料費等の経費節減に努めるとともに、高齢者などの乗りやすさといった利便性の向上に努めた。			A	＜目標：ノンステップバス導入割合(民営乗合)＞ ノンステップバスをR1.7に1台導入した。	利用者の利便性向上のため、ノンステップバスの運行に加え、ロケーションシステム等による利用者の利便性向上に努める。
富山地鉄北斗バス(株)	布目経由新港東口 起点：富山駅前 終点：新港東口	ICカード、割安定期券の販売促進に加え、富山市のおでかけ定期券や夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A	＜目標：県民一人当たりのバスの年間利用回数＞ 今年度の利用者は82,027人で前年比102%と増加した。	引き続き、沿線の自治体と連携し、利用促進に取り組む。あわせて、沿線の学校に通学する利用者の増加に努めるため、ダイヤの見直しや定期券施策を検討する。
	○車両減価償却費等補助金	ノンステップバス(新車)を導入し、修繕費・燃料費等の経費節減に努めるとともに、高齢者などの乗りやすさといった利便性の向上に努めた。			A	＜目標：ノンステップバス導入割合(民営乗合)＞ ノンステップバスをR1.7に1台導入した。	利用者の利便性向上のため、ノンステップバスの運行に加え、ロケーションシステム等による利用者の利便性向上に努める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和2年1月7日

協議会名：	富山県生活路線バス協議会
評価対象事業名：	地域間幹線系統確保維持国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	地域間幹線系統は、地域住民、特に高齢者や児童・生徒などにとって必要不可欠な移動手段であり、通勤・通学のほか、通院・買い物などの住民生活の足として重要であり、その維持確保を目的とする。 ※各系統の目的・必要性については、別紙のとおり

別添1 各地域間幹線系統の目的・必要性

運行事業者名	番号	運行系統名	起点	経由地	終点	目的・必要性
富山地方鉄道(株)	1	滑川	富山駅前	針原新町	滑川駅前	滑川市・富山市水橋地区から富山市中心地への通勤・通学・買い物・通院の手段として必要
	2	猪谷	赤十字病院前	笹津	猪谷	細入・大沢野地区から富山市中心地への通勤・通学・買い物・通院の手段として必要
	3	富山－高岡	富山駅前	呉羽・小杉	高岡駅前	高岡市・射水市と富山市相互間の通勤・通学・買い物・通院の手段として必要
	4	富山－小杉	富山駅前	呉羽	小杉駅前	射水市と富山市相互間の通勤・通学・買い物・通院の手段として必要
	5	山田	富山駅前	速星・羽根	山田行政センター	山田・婦中地区から富山市中心地への通勤・通学・買い物・通院の手段として必要
	6	ファホーレ經由萩の島	富山駅前	ファホーレ	富山駅前	婦中地区から富山市中心地への通勤・通学・買い物・通院及びショッピングセンターファホーレへの買い物の手段として必要
	7	富山国際大学(市民病院)	富山駅前	市民病院前	富山国際大学	沿線の高校・大学への通学、福沢地区等富山市南部地区から富山市中心地への通勤・通学・買い物・通院手段として必要
	8	月岡団地經由福沢	富山駅前	下堀	福沢	福沢地区等富山市南部地区から富山市中心地への通勤・通学・買い物・通院手段として必要
	9	熊野經由八尾	富山駅前	新布瀬・分田	八尾鏡町	八尾・婦中地区から富山市中心地への通勤・通学・買い物・通院の手段として必要
	10	城端	富山駅前	砺波駅南	城端行政センター	城端・福光・福野・砺波地区から富山市中心地への通勤・通学の手段として必要
加越能バス(株)	11	脇	高岡駅前	新守山	脇	灘浦小学校、氷見高校、高岡商業高校、高岡工芸高校、高岡第一高校への通学、灘浦地区からの氷見及び高岡市街地への買い物 一部新高岡駅まで延伸
	12	守山經由氷見	高岡駅前	新守山・氷見駅口	氷見市民病院	氷見高校、高岡商業高校、高岡第一高校への通学、氷見市民病院への通院、高岡市街地への買い物 一部新高岡駅まで延伸
	13	新高岡守山經由氷見	済生会病院	新守山・氷見駅口	氷見市民病院	氷見高校、高岡商業高校、高岡第一高校への通学、氷見市民病院・済生会病院への通院、新高岡駅・高岡市街地への買い物
	14	伏木經由氷見	済生会病院	伏木駅前・氷見駅口	氷見市民病院	氷見・伏木からの新高岡駅・高岡市街地への通勤・買い物等や氷見・高岡からの高岡ふしき病院への通院
	15	仏生寺	済生会病院	仏生寺・氷見駅口	氷見市民病院	氷見・高岡からの高岡商業高校、氷見高校、高岡第一高校への通学、新高岡駅・高岡市街地への買い物等
	16	石動	済生会病院	立野・福岡町	石動駅前	沿線企業への通勤、高岡からの福岡高校への通学 新高岡駅へ乗り継ぎ、アウトレットへの買い物
	17	済生会・中田団地	高岡駅南口	済生会病院中田団地	中田中学校前	中田地区から高岡への通勤、済生会病院への通院、イオンへの買い物
	18	加越	石動駅前	福野町・井波町	庄川町	南砺福野高校、となみ野高校、石動高校への通学
	19	砺波立野脇	砺波市役所前	福野町・福光駅前	立野脇	福光南部小学校、福光中学校への通学、砺波総合病院への通院
	20	城端白川郷	城端駅前	西赤尾	白川郷	五箇山地区から南砺市への通院、買い物、平高校への通学
	21	庄川町	高岡駅前	戸出団地・砺波総合病院	庄川町	高岡南高校、高岡聴覚総合支援学校への通学、砺波総合病院への通院やイオンへの買い物、新高岡駅・小牧船舶への乗り継ぎ
	22	若林	砺波市役所前	若林農協前・松沢	石動駅前	小矢部園芸高校、石動高校への通学、砺波総合病院への通院
西日本ジェイアールバス株式会社	23	名金線	金沢駅	香林坊・森本駅	福光駅	南砺市から、福光中部小学校、福光中学校、南砺福光高校への通学や、通勤、通院、買い物及び福光駅までのアクセスのための交通手段であり、地域住民の生活交通路線として必要不可欠である。 また、南砺市(特に福光地域)と金沢市は広域交流を続けているが、本路線は両市を結ぶ数少ない重要な公共交通機関であり、その存在意義は極めて大きなものである。
富山地鉄北斗バス(株)	24	富山簡保保養センター	富山駅前	速星・羽根	富山簡保保養センター	婦中地区から富山市中心地への通勤・通学・買い物・通院及簡保保養センターへの交通手段として必要
	25	布目經由新港東口	富山駅前	布目・練合	新港東口	射水市及び富山市北西地区から富山市中心地への通勤・通学・買い物・通院の交通手段として必要
合計	25	路線				